

# 変わらぬもの、

# 変わりゆくもの

「世の中に たえて桜の なかりせば 春の心は のどけからまし」  
この歌は在原業平（ありわらのなりひら）による和歌で、平安時代初期を代表する古典である「古今和歌集」「伊勢物語」で詠まれているものです。

現代風に言うと、「この世の中に桜というものがなかったら、もっとのどかな気持ちで春を過ごすことができるだろうに。」といった感じでしょうか。

この和歌の返歌として詠まれたものが、  
「散ればこそ いとど桜は めでたけれ 憂き世になにか 久しかるべき（散ってしまうからこそ桜はいつそう素晴らしいのです。そもそもこの辛い世の中で永遠に変わらないものなど何があるのでしょうか。）」（詠み人知らず）  
というもので、業平はボケたわけではないのですが、ツッコミとして成立しているところに面白さを感じます。

この歌を詠んだ時の業平の心境については諸説あるようですが、1100 年以上前の古の時代より、桜の花は日本人の心をわくわくさせたり、時には切なくさせる力があつたのでしょう。「パッと美しく咲き、美しいうちにパッと散る」潔さと儚さが日本人の DNA にぴたりなのでしょうね。

とはいえ、行事となるとこの「パッと咲く」というのがまた曲者でして、「パッと」の時期がいつになるのかが事前に明確にわからないのが、施設行事の一つである「お花見」を行う上で大きな悩みの種になっています。楽しく安全に実施するにはマンパワーが必要ですが、24 時間運営している施設ではシフト勤務をしているため、「今日はいいい天気だから花見に行っちゃおっかー！！」なんてノリで実施することができないのです。

結果、お花見の写真が満開であつたり、5 分咲きであつたり、葉桜交じりだったりしてしまうのですが、これも「なにか 久しかるべき」とご理解いただけると幸いです。

今年のお花見は咲き始めのタイミングはバッチリだったのですが、その後の花冷えで満開のタイミングとはならなかったようです。

現在植えられているソメイヨシノの多くが寿命を迎えている事や温暖化の影響もあり、花見の時期や愛でる対象は変わるかもしれませんが、「花見」という慣習はこれからも大事にしていきたいものです。



慣習といえば、3月に子供の卒業式があり、休みをいただいて列席してきました。学校の節目節目に卒業式があるのは日本と韓国だけのようにですが、生徒たちや先生の涙を見て、とても素晴らしい行事であると改めて感じました。

ただそこには「蛍の光」も「仰げば尊し」もありません。6年生の旅立ちの歌はレミオロメンの「3月9日」（ご存じない方も多いことでしょう。私も知りません）でした。長く続く慣習の中でも流行というものは年々変わっていくものです。

施設運営においても入所者、通所者様の過ごしてきた時代や趣味、嗜好の変化を感じます。例えば音楽の行事があれば、最後には「ふるさと」を歌うのが定番で鉄板でしたが、近年はビートルズやグループサウンズに親しまれてきた方々が私たちの顧客になってきており、今までのやり方ではピントがずれてきてしまうのです。この点でもサービスを提供する側の視点も柔軟に変化させる必要性を感じています。

今号では変わらない「花見」という行事と変わりゆく「日常生活」がテーマになっています。利用者様の生き生きとした表情をお楽しみいただければ幸いです。



これからもよろしくお願いします。

事務長:菊池



初桜、花影、花冷え、桜雨...

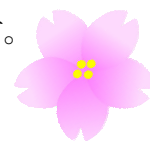
花霞、花嵐に花筏。

桜にちなんだ言葉はたくさんあります。花開く僅かな期間を彩る言葉たち。桜に対する人々の思いが溢れているようです。

はかなさ故に愛でるのか？

はなやかさ故に愛でるのか？

桜一輪に春の到来を喜び、桜吹雪の美しさに息をのみ、花屑に人の世の憂いを思う... 感じ方は人それぞれですが、桜の様子に合わせた楽しみを知ることが、日本人の奥ゆかしさかもしれません。今年の花見はどんな瞬間を楽しまれたのでしょうか？職員からご報告させていただきます。



3月25日、今年も利用の皆様と春日神社へ花見に出かけました。本日は寒の戻りもありとても寒い一日になりましたが、天気は快晴に恵まれました。

この時期は天候も安定しないので雨に降られず花見に出かける事が出来良かったと思います。

さて、肝心の桜ですが・・・。咲き始めたばかりで1分～2分咲きといったところでしょうか？

少し寂しい気もしますが利用の皆様から「綺麗だね」等の声も聞かれ感動されておりました。





桜を見ながら話されている時の笑顔がとても印象に残っています。中には花より団子！？の利用者様もいらっしゃいましたが普段なかなか笑顔を見せない利用者様もこの日は笑顔を見せていました。ドライブも兼ねていたので気分転換を図り、季節感も感じて頂く事が出来たのではないかと思います。

今年は長い期間桜を楽しめそうとの事ですので満開の桜も見て頂けたらと思います。

これからも利用者様のたくさんの笑顔が見られるよう心掛けていきたいと思っています。

3階介護副主任 羽石



## 桜色の絨毯

春到来です！デイケアでは4月2日から1週間、毎年恒例のお花見に出かけました。

今年は大船の観音様の裏手にある穴場スポット、谷戸池から山百合公園

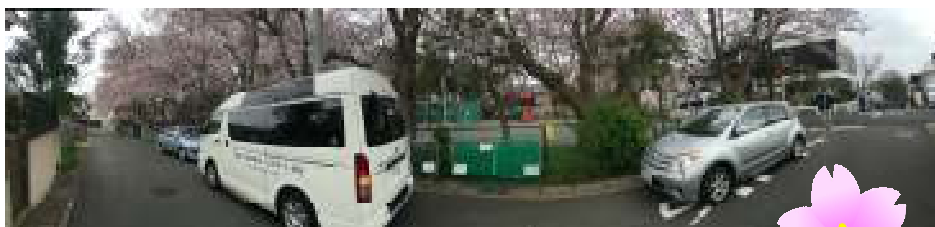
をめぐるお花見ドライブを行いました。

例年より遅咲きの桜だったため、利用者様全員がお花見を終えるまでの一週間で桜が散ってしまうのではないかと不安もありましたが最後まで満開の桜を楽しむことが出来ました。

中でも最終日には、ヒラヒラと舞い散る花びらと池の水面に浮かぶ桜色の絨毯が見事で職員も利用者様と一緒に大いに楽しませていただきました。最近ではこの時期になるとどこも大混雑で、中々ゆっくりとお花見をする事が出来ませんが、また来年に向けてのんびりと桜を楽しめるようなお花見スポットを探して行こう

と思います。来年も素敵な桜を見られると良いですね。

通所リハ主任 大塚



## 日常生活の一幕

やったよ・・・俺けっこう強いんだよ！と、その日の結果を教えてください。

女性利用者様は毎日エプロンを干したり畳んだりしてくれています。

長年主婦をされていた利用者様にはお手の物！シワがあるけどいいの？と心配して下さる声も聞かれます。

毎週日曜日の午後はDVD鑑賞を行っています。昔の映画に懐かしむ利用者様や初めて観賞する方、時折笑いが起きたりし楽しんで頂けているようです。



外出の機会が少ない利用者様もいらっしゃいます。厳しい寒さも終わりようやく暖かくなってきましたので、少しでも外の風に触れリフレッシュしていただけるよう外出レクや外気浴等、今後は積極的に取り入れていきたいと考えています。

2階介護主任 加藤

# 「外食レク」に参加して

2016年4月22日（金） 昨年の7月に入職して初めて「外食レク」に参加させていただきました。

「外食レク」は、利用者様に食べたい料理を事前に確認しておき参加を集い、気候がいい春か秋に実施します。

目的はなんといっても「気分転換」。日ごろ施設では味わえない料理を、お腹いっぱいご賞味いただきます。今回行ったのは、ステーキハウス「ブロンコビリー 戸塚原宿店」。

4名の利用者様に4名の専門職（ケースワーカー、看護師、ケアマネ、相談員）がつき行ってきました。ハンバーガーランチにサラダバー、ドリンクバー、



を追加（なんとスイーツを追加される方も・・・）し、サラダやドリンクのお替りをし、お腹いっぱいになるまで食べ、皆さま笑顔で帰ることができました。

これからも機会があれば参加させていただきたいと思います。また、ご家族や地域の皆さまにも一緒にご参加いただければ、一層楽しい「外食レク」になると思いますので、ご協力の程、よろしくお願い致します。

支援相談員 藤本



## おやつ作り

デイケアでは、毎月の第3週レクは手作りおやつ週間！と決めています。

目新しいメニューはないかな、これは前に作ったよね、など事前の秘密会議で相談の結果、今月のおやつは「バナナボート」となりました。手作りですから、同じモノはできませんし、失敗はつきものです。

初日は、クレープ風に薄く焼き上げた生地にはバナナを包むはずが????何故か包めない！薄すぎると切れてしまうし、厚すぎてもダメ。生地を長方形にしたり、さらに薄く大きく作ってみたり、試行錯誤の結果、バナナ小さくすることで、一件落着。な～んだ。

フワフワの生クリームと、トッピングはチョコレートとカラースプレーで可愛らしく。見た目も大切ですね。「美味しい！」「作り方を教えて」と大好評でした！！

フルーツやトッピングを変えて、皆様も作ってみてくださいね。



通所看護：寒河江

### ☆バナナボート☆ ○材料(1人分)

ホットケーキミックス	20g	A
卵	5g	
牛乳	30g	
油	少々	
バナナ	1/4本	
チョコソース	少々	
ホイップクリーム	少々	
トッピング用チョコ	少々	

#### ○用意する物

ホットプレート  
フライ返し  
泡だて器 ボウル  
お皿 フォーク  
手袋 包丁  
まな板  
ペーパータオル

#### ○作り方

- ①温めたホットプレートに油をひき、Aを混ぜてホットケーキを焼く。
- ②焼きあがったホットケーキを冷ます。
- ③バナナ、ホイップクリーム、チョコソースをかけてホットケーキで巻く。
- ④トッピングのカラーチョコをかけてできあがり。